

東濃西部少年センター



		多治見	瑞浪	土岐	センター	合計	少年相談
10月	指導件数	1	2	1	0	4	電話 5
	内女子件数	0	1	0	0	1	メール 1
	声かけ件数	610	46	238	100	994	合計 6
11月	指導件数	3	0	0	0	3	電話 0
	内女子件数	0	0	0	0	0	メール 1
	声かけ件数	548	225	163	50	986	合計 1
4月～11月 合計	指導件数	25	37	29	0	91	電話 37
	内女子件数	5	14	3	0	22	メール 17
	声かけ件数	3,640	1,892	2,893	460	8,885	合計 54

〈センターより〉

※今年度内閣府は、従来11月の「全国青少年健全育成強調月間」を「子ども・若者育成支援強調月間」と改め、全国の関係機関や団体に対して、それへの積極的な取り組みを求めてきました。

これをうけて当センターでは、多治見地区において、11月14日(日)30名の指導員と市内4校の高校生80余名のボランティアによって、JR東海多治見駅を中心に「子ども・若者育成支援」と「よりよい街づくり」を呼びかける、啓発活動に取り組みました。

なお、センターでは、22年度の重点努力目標の一つに、若者による啓発活動の展開をかかげてきました。今回もその一環で、従来のように大人が若者に働きかける活動から、若者が自ら地域社会全体に働きかける活動になればと考えました。

当日多治見駅の自由通路を会場に、9時25分多治見高校吹奏楽部35名のオープニング演奏に続いて多治見工業高校の生徒さんによる、開会セレモニーが始まりました。

古川市長も他の行事の合間をぬって駆けつけていただき、参加している若者への激励の言葉をいただきました。この後、多治見西・多治見北の生徒さんが、駅を中心にチラシの配布に取り組んでくれました。

こうした若者による社会参加・社会貢献は、多くの市民の関心を集めることができたと思います。

なお、土岐地区では4日(木)、瑞浪地区では10日(水)、両地区ともJR駅や、市内のモールを中心に市民会議と共催で取り組まれました。

ここでも、例年以上に多くの高校生や中学生の参加を得ることが出来ました。

当センターでは、これからも若者が社会の前面に出て活躍できる場を、積極的に取り入れていきたいと考えています。

※先月の指導件数は3件で、内訳は高校生の危険な火遊び3名でした。一時期どの地区も若者による駅でのたむろや喫煙を指導するケースが多くありました。しかし最近はそうした光景を見るのがほとんどありません。指導の成果が出ていると受けとめています。

寒く、日も短くなり、児童生徒を街で見かけることが少なくなっています。予定表の通りではなく、子どもたちのいる時間帯を考えて、効果的な巡回を工夫してください。

〈指導日誌より〉

(多治見地区)

- ・共栄公園で、たき火をしていた男子高校生が、オイルを口に含んで、炎に向かって吹きかけて遊んでいた。危険なので、止めて帰宅するよう促す。
- ・セガワールドなどのゲームセンターで遊んでいる親子や祖父母と孫に注意を促したいが、これが非常に難しい。

(瑞浪地区)

- ・寒くなったせいか、駐車場に人も車も0である。「冬場は巡回の必要がないね」と話し合ったが、防犯上、何かの役にたっているであろうと言う意識で巡回しています。

(土岐地区)

- ・女子中学生が三起屋3階のゲームコーナーに多くいた。外は暗いので、早く帰るよう促す。
- ・土岐市駅前が静かになりました。(PM7時頃)(以前は若者が多くたむろし、たばこを吸っている者もいた)

◎指導員全員へのお願い

先日、多治見地区の班長会で、街頭での指導活動時、飲酒の状態、自転車で集合し、指導に参加する人がいるということが話題になりました。

これは、ほんの一部のケースであると思いますが、「指導員全体の品位と信頼にかかわる問題です。」全員で注意をしたいものです。

また、夕暮れ時から夜にかけての街頭指導では、交通事故防止に万全の注意が必要です。配布してある「蛍光たすき」は、必ず着用してください。

「全国青少年健全育成強調月間」多治見駅前啓発活動の様子

